

## 4・5月の展示

### 新入生応援！「Let's Start Campus Life」

新学期は新しい出会いや講義など、はじめてのことばかり。

「どういう勉強をすればいいの?」「友達できるかな?」と、不安に思いませんか。今月は、そんなキャンパスライフのスタートを応援する本を紹介しています。



### <展示期間中はキーワードラリー開催!>

スタートは展示コーナーから。図書館をぐるっと一周して「OOOOOOOOO (8文字)」に当てはまる言葉を探そう。正解者にはプレゼントあり。ぜひ参加してください。

### 3月15日図書館9階にて地域相互協力図書館合同主催公開講座

#### 「暮らしに役立つ身近な経済・経営～高度成長を続ける中国とどう付き合うのか」を開催しました。

本学経営学部教授の張 紀尋先生を講師に招き、高度成長を維持する中国とその貿易相手国である日米の推移を交えた国際経済の展望についての講座が行われました。

講座には42名の方が参加し、質疑応答では日中関係の今後についての熱心な質問が続きました。会場には関連する資料の展示も行われ、講座終了後には多くの方が図書館ツアーに参加して、大盛況のうちに終了しました。



### データベースが便利になりました

#### 日経テレコン

- ◆パスワード認証制からIP認証に変わりました。学内のどこからでも利用できます。
- ◆同時アクセス数が2名から3名に増えました。

#### 医中誌Web

- ◆同時アクセス数が2名から4名に増えました。

#### ジャパンレッジLib

- ◆ジャパンレッジプラスからリニューアルされ、絞込み機能などが強化されました。

## 図書館彙報

■3月8日	小松原女子高校の生徒20名、教員2名が図書館を見学しました。
■3月12日	薬学部対象SciFinder講習会に78名が参加しました。
■3月13日	第2回JURA運営委員会 第2回図書館運営・選書合同委員会を開催しました。
■3月14日	図書館員向けD1-Law講習会を開催しました。
■3月15日	平成25年度地域相互協力図書館合同主催公開講座を開催しました。
■3月23日	オープンキャンパスで42名が図書館を見学しました。
■3月26日	平成25年度地域相互協力図書館合同研修会「図書館ボランティアについて」を開催しました。

# BookMark

2014年4月号 (通巻第70号)

## 城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ

<http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス

[library1@josai.ac.jp](mailto:library1@josai.ac.jp)

TwitterID lib\_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→



## 新入生の皆さんに 知識の網でつかまえよう

水田記念図書館 副館長 関 俊暢

小説「舟を編む」(三浦しをん、光文社)は、2012年本屋大賞第1位ですし、映画「舟を編む」(監督石田裕也)は、先日発表された第37回日本アカデミー賞の最優秀作品賞に選ばれたので、ご存知の方は多いと思います。松田龍平(同作で最優秀主演男優賞受賞)が扮する辞書編集者が、辞書出版に情熱を燃やすストーリーですが、このお話で辞書は、言葉の海を渡る舟、気持ちを相手に届けるための舟、と例えられています。しかし、かつて学習の必需品であった書籍としての辞書は、その重さから嫌われ、電子辞書に置き換わられ、最近のスマートフォンの普及で、電子辞書さえ持っていない人もいます。

スマートフォンを持っていれば、いつでも速やかにあらゆる情報にアクセスできます。今日、知っているということの価値はどんどん低下していきます。もし、あらゆる知識を瞬時に得ることができるのであれば、皆さんは大学で何を学ぶのでしょうか。何を手に入れるべきなのでしょう。

一つ一つの知識は点でしかありません。先ず、それを空間上の適切な位置に置いていかなければなりません。そして、複数の点同士の関係を考え線で結んでいきます。重要な点は複数の点と関係するので交差する結び目となります。そして網が出来ていきます。私たちが本当に成すべき“深い考察”や得べき“新しい発想”は、辞書や書籍にも載っていません。それらはきっと、私たちの周りを漂い、そしてそばを通り過ぎていくのです。もし、私たちが知識の網を持っていた

なら、それらを捕まえることができます。より多くの点を含む細かい網なら、他人が気づかないような事柄を上手に捉えることができるでしょう。

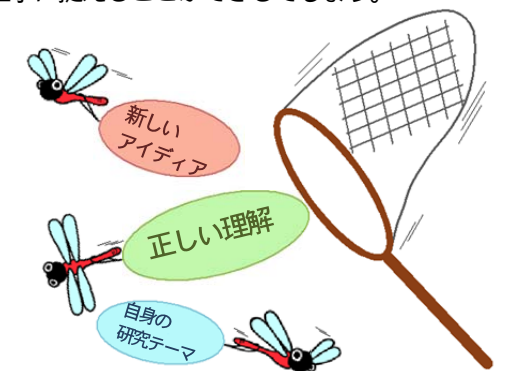


イラスト 薬学研究所博士課程1年 武井さん

この知識をつなげ網を編むという作業に図書館は本当に役立ちます。図書館は皆さんの学修の場です。書架に入り書籍のタイトルを眺めていくだけでも、学問の体系の概略を知ることができます。1冊の書籍を深く読み、その参考文献を辿っていけば、新しい考えが生まれ、それが確かな理論として成立するまでのプロセスを知ることができます。水田記念図書館は、無線LANが整備されていますし、タブレット端末の貸し出しもしています。最新の情報収集方法と従来の方法を同時に組み合わせることができるのです。

皆さんが、自分オリジナルの知識の網を手に入れて、それを活かせるように、そのことに城西大学水田記念図書館がお役に立てることを、切に願っています。

### 4月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

### 図書館開館時間

□=9:00~21:00

■=9:00~19:00

■=9:00~17:00

□=休館日です

4月20日は創立記念日でお休みです。

4月29日は授業がありますので開館します。

4月30日は全学休講ですが短期開館します。



# 大学図書館を 活用しよう

大学における「学び」の拠点が図書館です。  
日々の学習に、知的探求に、ぜひ活用してください。

## 図書館について

図書館には図書・雑誌をあわせて45万冊の資料があります。

1階から3階には和図書と新着雑誌、積層書庫には洋書と製本された雑誌があります。

数学分野の洋図書、雑誌は1号館4階の理学部数学科の図書室に配置されています。また、1階では月替わりのテーマでの展示や、時事問題を扱ったミニ展示などで資料を紹介しています。



## 図書館カウンター

図書館1階のカウンターでは本の貸出のほか、検索のお手伝いや、他の大学図書館の紹介など、利用者みなさんの学習を総合的に支援しています。

図書館の使い方や、レポートを書く際の資料の探し方、疑問など、わからないことがあったら何でも相談してください。また、カウンター横でも学生アドバイザーが相談を受け付けています。

図書館ではこのほかにも、各種データベースの利用講習会や各学年に合わせた図書館ガイダンスを開催しています。



## 図書館で楽しむ

1階のブラウジングコーナーでは新聞や雑誌が読めます。バックナンバーも一定期間取り置いていますので、過去の記事も読むことができます。さらにDVDやCDなどの聴覚資料を利用するためのAV視聴ブースもあります。



## 図書館で学ぶ

図書館には800席以上の閲覧席があり、自由に学習することができます。

3階と6階にはグループ学習室があり、5名以上の人数から利用可能です。

小人数で話しながら勉強したい方は、4階が勉強のための会話がOKのフロアになっています。

## PCを使う

1階～3階には60台以上のパソコンと1台ずつプリンターが設置されています。そのほかノートPC、iPadの貸出も行っており、持ち込みPCの利用も可能です。

25,000タイトル以上ある電子ブックや電子ジャーナルは、ネットワークを通じて学内のどこからでも閲覧出来るようになっています。学内専用LANの設定をすれば自分のモバイル端末も使えます。



## 資料を探す

図書館ホームページには図書や雑誌を探せるOPACという検索システムと雑誌記事や論文などを探せる各種データベースがあり、本の予約やリクエストもできます。本学に所蔵していない資料は全国の大学図書館から取り寄せや複写の申し込みができます。



## 資料を借りる

資料を借りるときは図書館1階カウンターで貸出手続きをしてください。貸出冊数は、1～3年生は図書5冊を2週間、雑誌は5冊を1週間。卒業見込生は、図書・雑誌を各10冊まで、図書は90日間貸出できます。AV資料、シラバスルームの図書は2週間だけの貸出です。

## 図書館ホームページを活用

ホームページの「データベース一覧」からアクセスできる各種専門分野のサイトでは、論文や雑誌記事を探せるので、普段の学習やレポート作成の強い味方になります。ホームページには最新情報をいち早く掲載。他にも学力補強ムービーや城西大学の研究論文を集めた機関リポジトリ「JURA」など図書館のさまざまな機能にアクセスすることができます。

## シラバスルーム (3階)

講義要項(シラバス)に載せられたテキストや参考書が、先生の名前順に並んでいます。シラバスルームの本は3冊ずつ置かれており、2冊が貸出可、1冊が貸出禁止になっています。



## 学生アドバイザー

学生アドバイザーは教員の推薦を受けた皆さんの先輩です。図書館カウンター脇の相談席に常駐して皆さんを待っています。本の探し方、レポート作成の相談など、アドバイザー自身の経験も生かしながらお答えしていますので気軽に相談してください。



そのほかにも皆さんの学習をサポートする様々な機能やサービスがたくさんあります。困ったら、図書館へ!